

古高松コミュニティ協議会 広報誌

活動報告
(2～5面)



秋空のもと、源平古戦場をめぐる「ふるさと探訪歩け歩け大会」で清々しい汗を流しました。(平成19年11月)

飛躍の平成二十年度へむけて



古高松コミュニティ協議会

会長 加藤 直之

「安全安心のまちづくり」の実現へ向けての十九年度「四つのまちづくり方針」による活動展開も、はやその総括と新しい事業計画を策定する四月を迎えました。

活動の総括では、十分な事業推進には至らぬも、少しずつではありますが着実に前進しつつあると考えます。年二回の広報誌と二ヶ月毎の「センターだより」の定期刊行、今年一月七日には待望の「古高松地区コミュニティ協議会ホームページ」が開設されました。

また、地区民みんなが参加できる五月の区民運動会、夏のふれあい「旧高松城」祭り、秋の文化祭と歩け歩け大会も、多くの実行委員の努力により充実した内容の年中行事として定着しつつあります。

一方、防犯・防災についての活動も、少健連が中心になり募集した「歩き人」による日常散歩と集団下校時の同行による子ども達の見守りの実施。社会福祉協議会が取り組む高齢者の見守りと「ふれあいサロン」の開催。連合自治会と父母の会が共同して取組んだ地区内全域の「カープミラー点検」は、新しい取組としてその成果を見ることが出来ます。

こうした活動状況の総括から新たに検討を進めつつある事業計画の中には、全地域から子ども達を見守る体制の組織化。災害弱者や要支援者のネットワークづくり。ふれあいウォーキングコースの新設と表示。JR屋島駅活性化の検討等、皆様の協力を得て是非とも実現したい課題と考えます。

「地域の目」が見守る子ども達の安全

歩き人

子どもSOS

あいさつ運動



子ども達の安全を見守りながら歩く“歩き人”。黄色の腕章が目印。

少健連活動報告

思いやりや豊かな心をもった青少年の健全育成を目指している古高松地区青少年健全育成連絡協議会（少健連）の活動報告を紹介します。

歩き人（あるきびと）

平成十七年十一月から活動を開始し、現在百十名の地域の方が「腕章」をつけて登下校時や放課後に歩いていきます。

子ども達の安全を見守るとともに、「地域の目」が増えることにより、不審者出没の減少、事件や事故の防止にもつながると思います。

子どもSOS

子どもが登下校時や放課後に緊急避難場所として利用します。古高松小学校区七十一軒、古高松南小学校区六十軒の店舗や家庭に協力頂いています。ここに行けば、誰かいるという安心感を子どもに与えています。

あいさつ運動

毎月第一月曜日（休みの場合は第二月曜日・八月は休み）午前七時三十分から古高松小学校北門（スパレット青木前と東門（プール横））古高松南小学校南門とサンライズ前、古高松中学校正門東側と西側の計六箇所、各種団体の協力を頂き年間十一回行っています。たすきを掛けるのぼりを持ち、児童や生徒にあいさつの声をかけをしています。元氣よく笑顔で「おはようございます」と、あいさつをしてくれる子どもが増えてきています。

あいさつ標語

毎年、古高松、古高松南両小学校5年生、古高松中学校1年生から募集、最優秀・優秀作品を地域の方に配布しています。

平成19年度最優秀作品

あいさつの 笑顔と声が かがやいて
(古高松中1年 筒井 友美子)

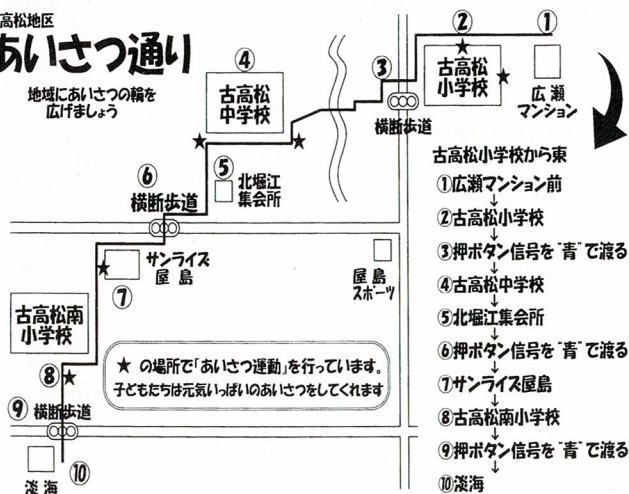
「こんにちは」そのひとことで 笑顔さく
(古高松小5年 土居 真菜)

朝一番 たがいにあいさつ ポッカポカ
(古高松南小5年 八木 るな)

古高松地区

あいさつ通り

地域にあいさつの輪を
広げましょう





あやとりやお手玉などの昔遊びで交流

古高松小学校の一年生百十九人と
地域のお年寄り二十人が、二月八日
古高松コミュニティセンターホール
で交流会を開きました。

昔遊びで温かい交流 —お年寄りと児童たち—

スポーツ 活動報告から

こま回しやけん玉、あやとり、お
手玉、かるたなどの昔遊びを一緒に
したり、歌を歌ったりしました。児
童には、お年寄りから手作りのかぶ
とや金魚のモールがプレゼントされ
お年寄りには児童たちが肩たたきを
しました。温かい交流の輪がホール
一杯に広がっていました。



ふるさと探訪歩け歩け大会

健康増進と世代間交流も —ふるさと探訪歩け歩け大会—

秋恒例の第二十一回ふるさと歩け
歩け大会（古高松南校区体協主催）
が、昨年十一月十八日に開かれ、参
加の子ども大人も壇ノ浦古戦場を目
指して歩きました。また、二十五日

には第二十回古高松歩け歩け大会（高
松町自治連合会、古高松体協、古高
松小体育施設開放委員会主催）が開
催されました。秋空のもと多くの参
加者がふるさととの山野に心地よい汗
を流していました。帰着後にはうど
んとおむすびのプレゼントがありま
した。

自由に楽しく遊ぼう —「こどもまつり・感謝祭 冬」—

大人も子供も純粋に好きなこと
をして楽しもう！と言う「こども
まつり・感謝祭 冬」が二月十七
日、古高松小学校体育館で開かれ
ました。

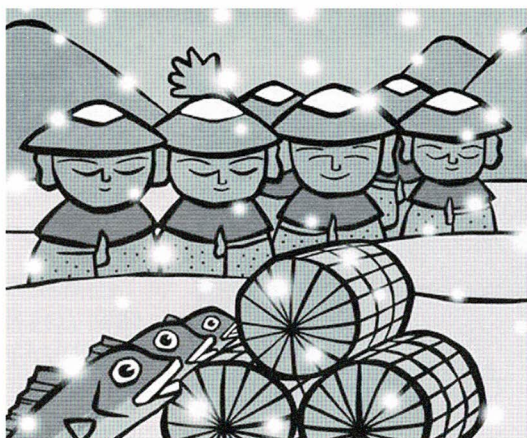


こどもまつり・感謝祭

人形劇と影絵楽しむ —「劇団ドリーム」が公演—

古高松コミュニティセンター講座
の「劇団ドリーム」による「人形劇
と影絵」公演が二月九日、大ホール
で開かれました。

演じものは、影絵が「かさじぞ
う」、人形劇がシャルル・ペロ作「長
ぐつをはいた猫」の二本立て。巧み
に操られる人形や、幻想的な明かり
の舞台で演じられる心温まる物語に
魅了されていました。

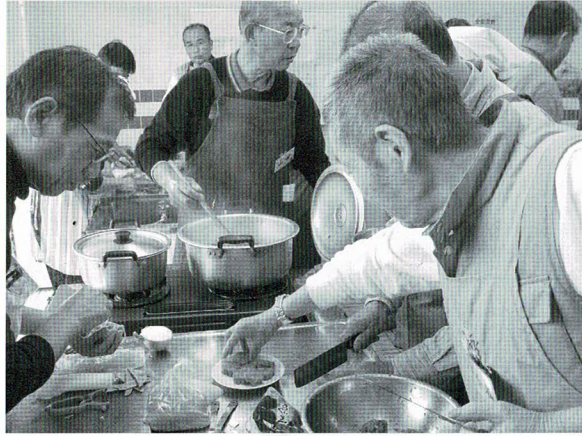


「劇団ドリーム」公演の「かさじぞう」

体育館を半分に仕切ってスポー
ツコーナーと、工作コーナーを設
置し、参加者各自思い思いのここ
ろへ行って、自由に遊んでいまし
た。

トピックス

活動報告から



男性料理教室

学

ぶ

人気が昇中です

―恒例の男性料理教室―

料理の基本や家庭内での男性の役割認識を学ぶ古高松地区婦人会主催の男性料理教室は、昨年十二月一日、古高松南センターで開かれました。

この講座は、年間四回開講されており、今回は時節柄、正月用料理五種類のメニューを二十二人が午前、午後の部に分かれて受講しました。婦人会の皆さんの指導のもとグループ毎に、材料切り、味付けなどを分担して仕上げました。出来上がった料理は全員で楽しく試食しました。二月六日には古高松センターで開かれました。



パンフレットと餅を配り交通安全を呼びかけた

安

全

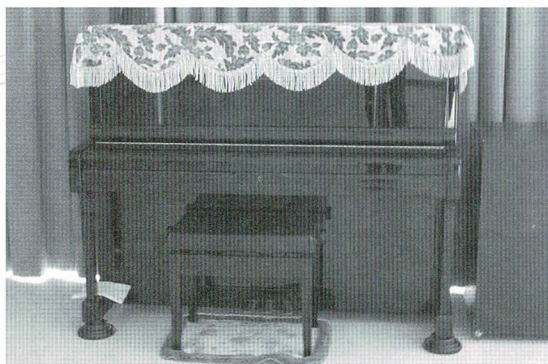
年末年始の交通安全県民運動に呼応して環境・安全部会が、昨年十二月十二日、新田町小山の交差点で街頭キャンペーンを行いました。揃いのユニホームで「飲酒運転撲滅」ののぼりを掲げ、道行くドライバーに呼びかけました。チラシとともに手渡したおなじみの手作り「安全もち」はモテモテでした。

飲酒運転撲滅を

―交通安全街頭キャンペーン―



飲酒運転撲滅キャンペーンのぼり



寄贈していただいたピアノ

加藤 豊 理事が ピアノ寄贈

～コンサートやピアノ講座に活用へ～

古高松コミュニティ協議会理事・古高松地区体育協会長の加藤 豊氏から、このほどピアノの寄贈がありました。子供さんが練習に使用していたアップライトピアノで、早速、ホールに設置し、コンサートなどに活用しているほか、希望の多いピアノ講座の開設を予定しています。

絵手紙は、NHK趣味悠悠で小池邦夫先生の指導で放映され、一躍お茶の間に注視され、手作りの温もりが伝わるコミュニケーションの手段に多くの人々の心をつかえました。私達、絵手紙同好会は、古高松南コミュニティセンターのホールで、第二、第四金曜日、午前十時から正午までで作品づくりの励み、また、お互いに鑑賞し合い、そこで新たな発見にも出会い、至福の時を過ごしております。

絵手紙は下手でいいと申します。老若男女を問わず誰でも書けます。「私は絵文字も下手だから」と悩み、敬遠する人もいますが、悩んでこそ人生、送る相手を感じ

同好会あれこれ

【古高松南絵手紙同好会】

西尾 哲

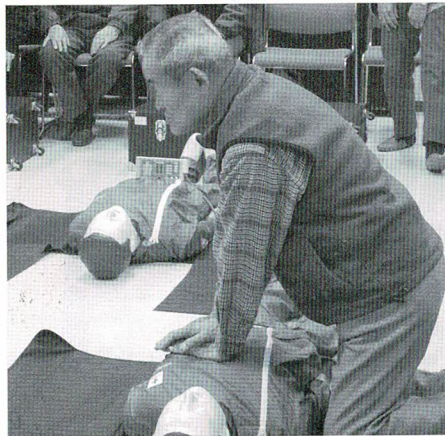
い浮かべて、飾らず気取らず一生懸命に書いた絵手紙は、必ず相手の心を動かすはずです。

画材、画題は選ばず…無理に難しいものに挑戦する必要はありません。自然の風物、身近な食材で、はがき、団扇、扇子、木板、畳紙とバラエティに富んでいますし、それぞれの味が絶妙です。

描き続けて出し続ける…描いて楽しく、貰って嬉しい絵手紙に人生の教訓・詞歌・心を打つ言葉を書いて部屋に飾っても楽しいですよ。あなたも楽しい悩みにチャレンジして、絵手紙の輪を広げようではありませんか。

古高松コミュニティセンター高齢者教室閉講式および健康講話と実技が、一月二十九日、同センターホールで開催されました。

AED使用による救急法実習 —古高松高齢者教室閉講式—



AEDによる救急法の実習

健康講話と実技講座では、日赤香川県支部の大林武彦氏を講師に「とっさの手当が命を救う」をテーマに受講しました。実技では、人形を使ってAED（自動体外式除細動器）による救急法を熱心の実習していました。

本年度の高齢者教室は体力づくりを中心に学習し、全十一回講座のうち七回以上参加した三十人に修了証書が贈られました。

朝日先生講演会と同好会が余興 —古高松南高齢者教室閉講式—



朝日俊彦院長の記念講演

古高松南コミュニティセンターの高齢者教室閉講式が二月六日に開かれ、学級生にはそれぞれ修了証書が贈られました。記念講演として朝日クリニッ

ク院長の朝日俊彦氏が「元気で長生きするコツ」のテーマで講演しました。講演で朝日氏は「高齢になってきたとき、子や孫に迷惑をかけない、日頃から運動をする、おいしく食事するなどの幸せを感じる人生を送りたいものです」と話しました。このあと、大正琴と舞踊の同好会によるアトラクションがありました。

地震災害に備え万全

—高松町婦人防火クラブ研修会—

高松町婦人防火クラブが、一月十七日、県防災センター（高松市生島町）と高松市消防局（同市宮脇町）を見学しました。総勢三十人が参加し、防災センターでは暴風、地震、煙避難などを疑似体験、特に当日は阪神大震災から十三年目に当たり、同じ揺れを体感して備えの重大さを痛感していました。



高松町婦人防火クラブ研修会

コミュニティ協議会

会議録

平成十九年十一月七日から平成二十年二月二十八日までの間に開かれた役員会、管理運営委員会は次の通りです。

平成二十年度定期総会、五月十七日開催決まる

「二月二十八日・役員会」

- ①平成二十年度総会について
五月十七日(土)午後一時三十分から古高松コミュニティセンターホールで開くことを決定、事業計画案等の策定。
- ②JR屋島駅活性化策の取り組みについて。
- ③平成二十年度センター職員採用について。
- ④交通安全施設(カーブミラー)の修繕等の要望結果について。
- ⑤消防屯所建設に伴うセンター施設の改善要望について。

「二月六日・管理運営委員会」

- ①平成十九年度両センター事業経過報告について。
- ②平成二十年度両センター事業予定について。
- ③消防屯所建設に伴う駐輪場対策等について。

「一月二十三日・役員会」

- ①平成二十年度センター職員募集について。
- ②平成二十年度文化祭の日程について。

両センターの開催日程を一週間ずらし、古高松南センターは十月二十四日から二十六日まで、古高松センターは十月三十一日から十一月二日までと決めた。地域ふれあいウォークルート表示看板設置工事について。

「平成十九年十二月二十五日・管理運営委員会」

- ①消防屯所建設に伴う諸問題、特に駐車場、駐輪場と通行安全について。
- ②古高松コミュニティ協議会ホームページ開設について。
- ③ピアノ寄贈について。

「平成十九年十一月七日・役員会」

- ①部会の定例化について。
 - ②放課後子ども教室について。
 - ③文化祭開催報告。
- 参加人員数は古高松センター一〇五四人、古高松南センター九〇七人。

センター管理運営規程、同好会活動実施基準を制定

古高松地区コミュニティ協議会が、この

ほどコミュニティセンター管理運営規程と同好会活動実施基準を制定しました。いずれも四月一日から施行されます。管理運営規程は、使用許可の審査基準、開館時間、休館日、入館者の遵守事項など古高松、古高松南両センターの適正な管理運営について必要な事項を定めたものです。また、同好会活動実施基準は、両センターの同好会活動について必要な事項を定め、同好会の育成とセンター施設の効率的、円滑な運用を図るものです。

駐車場・駐輪場についてお願い

古高松コミュニティセンター駐車場は利用台数が限られており、これまで南側空き地を臨時駐車場として利用しておりましたが、消防屯所の建設工事に伴い利用できません。

このため、これまでの仮設駐輪場(テント張り)を撤去し駐車場として開放するとともに、仮設駐輪場を北側駐車場に移動しました。(略図参照)

なお、当コミュニティセンター利用の際には、近距離の方は徒歩や自転車、車の場合は相乗りでのご協力をお願いいたします。



一期一会の言葉を大切にしつつ勤務したいと思えます。

古高松南コミュニティセンター
センター長 青木 周作

私、三月末で高松市役所を定年退職し、四月から古高松南コミュニティセンターでお世話になることになりました。古高松地区の皆様方とは初めての出会いですが、これも何かのご縁と、

高松市では、今、地域みずからのまちづくり活動を推進しています。私も、幅広い年齢層の方々が、コミュニティセンターを活動の拠点施設としてご利用下さることを願っています。ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

「古高松コミュニティセンター」

高松市高松町一〇二〇
TEL〇八七七八四一六二六二
センター長 氏部 幸男
主任 伊井 智子
事務補助員 大熊 征起
スタッフ 大橋 克二、佐藤 宏明

「古高松南コミュニティセンター」

高松市春日町七八二二
TEL〇八七七八四二二八六
センター長 青木 周作
事務補助員 多田喜美子
スタッフ 市原富三郎、大槻 敏晴

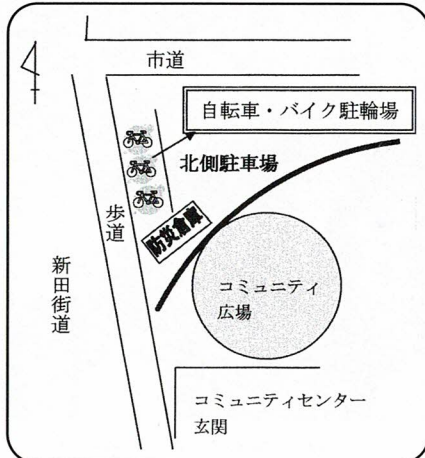
人事異動

「退職」

古高松南コミュニティセンター長 北條 正行(三月三十一日付)
古高松南コミュニティセンタースタッフ 西本 久夫(三月三十一日付)

「採用」

古高松南コミュニティセンター長 青木 周作(四月一日付)
古高松南コミュニティセンタースタッフ 大槻 敏晴(四月一日付)



生き生きと楽しく学ぼう！

―平成二十年度コミュニティセンター―

生涯学習事業紹介―



生涯学習の場として注目されているセンター講座や高齢者・女性教室は五月から始まります。これまでにまとめた平成二十年度の主な講座名を紹介いたします。講座ごとの詳しい日程や費用などの詳細については、古高松、古高松南両センターに備え付けのパンフレットやホームページをご覧ください。

古高松センター

【講座】

(かつこ内は講師・対象・定員) Ⅱ五〇十月Ⅱ

▽あいあい教室(岡部直美・3歳児・二十五組)▽ひまわり教室(岡部直美・2歳児・二十五組)▽幼児体操教室(岡部直美・幼児・二十組)▽遊びと学びの広場(木岡明美、池田幸子・小学生・無)▽楽しく料理教室(隅田明子・一般・十名)▽元気を広げる講座(六車尚子・一般・三十名)▽ホウ酸だんご作り(佐々木ナミエ・一般・無)▽防災について(高島真治・一般・無)▽四電ふれあい出前講座(四電高松支店・一般・三十名)▽国際交流(アイパル香川国際交流員・一般・二十名)▽暮らしのセミナー(村尾美江・一般・三十名)▽木目込み人形づくり(安部絹子・女性・二十名)

▽フィルム写真とデジカメ勉強会(前田重信・一般・十名)▽絵手紙教室(石井聖子、岩原千文・一般・無)▽夏休み公開講座(古高松小教諭他・小学生・未定)▽夏休み親子料理教室(同・親子・未定)▽夏休み公開講座(高松市環境プラザ・小学生・二十名)▽同(田所満子・親子・十組)

【高齢者教室】(かつこ内は開催日・講師)

▽開講式と講演Ⅱ悪徳商法くこんな手口にくれぐれもご用心(五月十六日・田井有紀子)▽さぬきうどん作り研修(五月三十日・讃岐麺業)▽健康講話(六月十一日・朝日俊彦)▽国際交流(八月初旬・アイパル香川国際交流員)▽防災学習(九月五日・高島真治)▽館外研修(十月初旬・未定)▽文化祭講演会(十月下旬・未定)▽人権とハーマニカアンサンブル(十一月初旬・未定)▽世代間交流歩け歩け大会(十一月下旬・加藤 豊)▽修養講話とマジックショー(十二月五日・秋山和信)▽古高松小一年生との交流会(二十一年一月中旬)▽閉講式(同二月初旬)

【女性教室】(かつこ内は開催日・講師)

▽開講式とホウ酸だんご作り(五月二日・

佐々木ナミエ)▽エコバッグ作り(五月九日・木村フジノ)▽お付き合いのマナー(六月二十日・村尾美江)▽ヨンデン出前講座(七月十一日・四電)▽防災学習(九月五日・高島真治)▽木目込み人形作り(十月四日・安部絹子)▽館外研修(十月中旬)▽人権学習とハーマニカアンサンブル(十一月初旬・未定)▽フラワーアレンジメント(十二月中旬・未定)▽手芸教室(二十一年一月中旬)▽閉講式(同二月初旬)

古高松南センター

【講座】(かつこ内は講師・対象・定員)

▽心と身体の健康教室(六車尚子他・一般・三十名)▽親子でバードウォッチング(山本正幸・小学生、一般・三十名)▽親子パン・洋菓子教室(矢野久美・親子・二十名)▽つるで編むかご作り(松浦勢津子・一般・二十名)▽水の上手な使い方(高松市水道局・三十名)▽男性料理教室(福原周子・一般・二十名)▽人権学習と健康教室(人権教育課、高松市保健師・一般・五十名)▽消防訓練と講話(高松東消防署・一般・二十名)▽突然の停電!どうすれば?講座(四電・一般・三十名)▽防災教室(県防災局・一般・四十名)▽茶道教室(大石ツル子・女性・二十名)▽ガーデニング教室(上枝武美・一般・二十名)

【高齢者教室】(かつこ内は開催日・講師)

▽開講式・講演(五月二十三日・三崎め

ぶみ)▽突然の停電!どうすれば?講座(六月十八日・四電)▽転ばないための体操講座(六月・二月・体操教師)▽古高松南小生との交流会(七月九日・同小教員)▽館外学習(九月・上村弘)▽地球温暖化、私はどうしたらいいの?(九月十八日・県消費生活センター)▽交通安全教室(十月十七日・高松市交通安全対策課)▽古高松南小生との交流会(十月二十二日・同小教員)▽防災教室(十一月十二日・県防災局)▽高松東幼稚園児との交流会(十二月三日・同園職員)▽消防訓練と講話(十二月十七日・高松東消防署)▽人権学習・健康教室(二十一年一月十六日・人権教育課、市保健師)▽閉講式・講演(同二月七日・柴田好政)

【女性教室】(かつこ内は開催日・講師)

▽開講式・講演(五月二十三日・三崎めぐみ)▽突然の停電!どうすれば?講座(六月十八日・四電)▽館外学習(九月・木村フジノ)▽手芸教室(九月十七日・木村フジノ)▽元気を広げる講座(十月一日・六車尚子)▽「サン」で手作りパン作り(十月四日・松田あみこ)▽防災教室(十一月十二日・県防災局)▽つるで編むかご作り(十一月十七日・松浦勢津子)▽消防訓練と講話(十二月十七日・高松東消防署)▽お正月用フラワーアレンジメント(十二月二十日・氏部茂樹)▽人権学習・健康教室(二十一年一月十七日・人権教育課、市保健師)▽閉講式・講演(同二月七日・柴田好政)





ふるさと点描

「長尾1号墳」

(高松市高松町南谷)

古高松東部を南北に連なる竜王山塊西麓と南部丘陵地には、古墳時代前、中、後期の古墳が多数点在しています。この地に広大な生活圏があったことを示している興味深い。

竜王山塊の中央部から西方に延びた尾根の長尾山南斜面には、東西に七基の古墳が並んでいたと言われています。この長尾古墳群の中で現在、残っているのは三基だけで、最もよく原形をとどめているのが1号墳です。笠井幸雄さん宅の裏山にあり、急斜面を少し登ると、雑木や竹林に囲まれた墳丘を確認できます。

盛土円墳で、墳丘の長径は一三・八メートル、高さ二・四メートル。横穴式石室の玄室は奥行き三メートル、幅二・四メートル、高さ一・八メートルの規模で、両側壁は天井に近い部分をアーチ形に積んでいます。石室は玄室入り口で早くから開口されていたらしい。須恵器の破片を出土したと伝えられていますが、所在は分からないという。

この1号墳の西方約四十メートルの山林に盛土円墳で横穴式石室の2号墳、東方約五十メートルには3号墳がありましたが、盛土はほとんど流失し、石室も原形が分からなくなっています。

(絵・清水 純二)

編集後記

○子ども達の安全・安心の確保が問われています。今回の少健連を皮切りに各組織の活動の中身を順次紹介していきます。

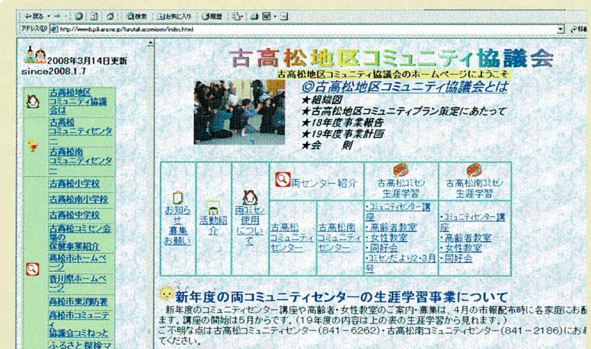
○待望のホームページが開設されました。協議会の活動の発信や、暮らしに役立つ各種情報の収集など、幅広い活用が期待されます。

(C)

会員募集のお願い

古高松地区社会福祉協議会が会員を募集しています。申し込みは、所定の申込書に記入の上、会費(千円)を添えて古高松出張所へ。

(TEL八四一六二六二)
なお、終身会員(一万円)も募集しています。



暮らしに役立つ情報満載

古高松地区コミュニティ協議会 ホームページ開設

古高松地区コミュニティ協議会のホームページを開設しました。協議会の構成、会則などの紹介や地区内各種団体の活動内容、お知らせ、お願い、古高松・古高松南両コミュニティセンターの講座の内容を知ることが出来ます。

また、ごみカレンダーやJR、私鉄の時刻表などの暮らしに役立つ情報もあります。リンクの中には、香川県、高松市や図書館、子育て支援団体など情報満載のホームページになっています。アクセスをお待ちしています。アドレスは次の通りです。

<http://wwwb.pikara.ne.jp/furutakacomisen>

平成20年度文化祭日程決まる

- 古高松南センター
10月24日(金)～26日(日)
- 古高松センター
10月31日(金)～11月2日(日)



平成二十年度の文化祭日程が、一月二十三日に開催の協議会役員会で決まりました。

会場の都合で両コミュニティセンターの日程を一週間ずらして開催することになりました。日程によると、古高松南コミュニティセンターが十月二十四日から二十六日までの三日間、その一週間後の十月三十一日から十一月二日までの三日間が古高松コミュニティセンターとなります。

十五日、古高松センターで前夜祭(国際交流の夕べ・二胡コンサート)で開幕し、両センターとも同二十六日から二十八日までの三日間、同時開催しました。一週間ずらして開催する両会場とも作品展や学習発表会などサークル活動の成果発表をはじめ、講演会、バザー(古高松センター)もあつて賑わい、参加人員は約二千人に上りました。

